

ひよこ新聞

新学期が始まりました。みんな元気に通園・通学しているのでしょうか。今は病気の流行もなくほとんどの子供達が毎朝元気に家を出ていることと思います。早く寝ることはとても大切です。小学生以下なら午後9時までには布団に入りましょう。朝はゆっくり朝食を食べて、トイレも済ませましょう。これだけのことがとても大事です。子供が帰っていたら、毎日その日あったことを話してくださいね。



「小児抗菌薬適正使用支援加算」

前回は書きましたが、もう一度説明します。

今月から抗菌剤（主に抗生物質）の適正な使用に関して、診療報酬（医療機関に支払われるお金）が加算されることになりました。感染症が疑われる小児（3歳未満、かかりつけ医選択の子供の場合は6歳未満）で、抗生物質を使用しない場合に、使用しない理由を説明することを条件に、月に一度請求可能です。



この制度の目的は、不必要な抗生物質処方抑制（医療費抑制）です。これは今まで必ずしも必要と思われない場合に多くの抗生物質が処方されていたことを意味しています。このことは医療費のムダ使いを抑制するというメリットがありますが、必要でない薬（明らかに感じられる以上の体に対するマイナスの影響を与えていた可能性がある薬）が処方されなくなる、という大きなメリットがあると思います。

この加算の有無にかかわらず、ひよこドクターの抗生物質使用の方針、頻度は今までと変わりません。考えられる診断、投薬の内容、必要な場合の検査についてはできる限り説明をします。疑問な点があれば遠慮せずに訊いてください。なお、加算を請求する初回には適正使用についての説明書きをお渡ししています。

ワクチンの話題

1 ムンプスワクチン

NHKの4月からの連続ドラマ「半分、青い」を見ましたか？初回から衝撃のスタートだったと思うのですが…主人公はムンプスにかかった後、左耳が聞こえなくなった女の子でした。ムンプスにかかって耳が聞こえなくなる（ほとん

どは片方ですが）、ムンプスで難聴となることがあることが全国的に強くアピールされたのではないのでしょうか。これがきっかけでワクチンを受ける人が増えるかもしれません。

2 3種混合ワクチン（DPT）

以前定期接種使われていたDPTが4種混合ワクチンに代わり、DPTの製造が終了したのは数年前ですが、昨年末再び製造・販売が再開されました。これは百日咳ワクチンの効果が小学校に入学する頃から弱まり、この年齢の百日咳患者（に比率）が増えつつある、それにより乳児が感染する危険性が高まっていることに対応しようとしているのです。乳児にとっては百日咳は重篤になりうる病気です。すでに米国Tdapと呼ばれるワクチンが、11,12歳での接種が始まっています。また妊婦への接種も勧められています。

DPTがいつ定期接種に入ってくるかまだ未定ですが、現在の小学生6年生の2種混合が間もなく3種混合に変わると思います。ここではDPTが再開される可能性がある、それは百日咳を防ぐためだということを記憶に留めておきましょう。

3 ロタワクチン

先週終わった七飯町の町長選挙で現職が再選されました、選挙公約にロタワクチンの公費援助を掲げていたので、近日中に公費援助が開始されると思います。できれば完全公費（2回とも）となればいいですね。

4 HPVワクチン

ひよこドクターは接種を勧めています。

ひよこ絵本館 375 回

《ぽよよんのはら》

春の野原「ぽよよんのはら」で、とっても楽しい事がおきます。出会った動物に、いっしょに遊ぼうって声をかけると“ぽよよん”の音とともに子どもが動物に変身！このページは1/2サイズで仕掛け絵本になっていて遊び心をくすぐります。いもとようこの、ほんわか愛らしいイラストと“ぽよよん”の楽しい言葉が子どもの大好きな空想の世界を誘ってくれます。2歳くらいから楽しめます。（Yすぎやま）

